



# 富山大学学報

昭和31. 9. 1

第 8 号

## 目 次

関係法令	法律, 政令, 省令, 規則, 訓令, 告示, 国会事項.....	1
学内規程	学則中一部改正.....	2
	富山大学レクリエーション委員会規程.....	2
人 事	人事異動.....	3
学内通知	昭和31年度科学研究費交付金.....	5
	奨学金の受払事務監査.....	5
部局情報	学生キャンプ.....	5
	部局対抗野外競技大会.....	6
	アルミニウム合金板の大気腐蝕試験.....	6
	工学部製煉研究室完成.....	8
雑 報	日本遺伝学会第28回大会.....	8
日 誌	日誌抄.....	8

## 関 係 法 令

### 法 律

- 法律第132号 国家公務員共済組合法第90条の規定による公務傷病年金等の額の改訂に関する法律
- 法律第133号 昭和23年6月30日以前に給付事由の生じた国家公務員共済組合法等の規定による年金の額の改訂に関する法律 31. 6. 6官報
- 法律第149号 昭和23年6月30日以前に給付事由の生じた恩給等の年額の改訂に関する法律 31. 6. 13官報
- 法律第163号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行に伴う関係法律の整理に関する法律 31. 6. 30官報

### 政 令

- 政令第186号 予算決算及び会計令等の一部を改正する政令 31. 6. 15官報

- 政令第188号 国有財産法施行令の一部を改正する政令 31. 6. 15官報
- 政令第210号 政府職員の特殊勤務手当に関する政令の一部を改正する政令 31. 6. 25官報
- 政令第227号 国家公務員のための国設宿舎に関する法律の施行に関する政令の一部を改正する政令 31. 7. 2官報
- 政令第239号 恩給給与規則第34条14の臨時特例に関する政令 31. 7. 23官報

### 省 令

- 文部省令第15号 学位規則の一部を改正する省令 31. 5. 29官報
- 文部省令第16号 学校給食法施行規則の一部を改正する省令 31. 6. 5官報
- 文部省令第19号 従前の規定による大学の研究科の存続年限に関する省令の一部を改正する省令 31. 6. 23官報
- 文部省令第20号 科学研究費交付金等取扱規程の一部を改正する省令 31. 7. 2官報
- 文部省令第22号 学校教育法施行規則の一部を改正する省令 31. 7. 25官報

### 規 則

- 人事院 1- 4 現行の法律, 命令及び規則の廃止の一部を改正する件 31. 6. 1官報
- 人事院16- 0 職員の災害補償の一部を改正する件 31. 6. 1官報
- 人事院 1- 4 現行の法律, 命令及び規則の廃止の一部を改正する件 31. 7. 9官報

### 訓 令

- 文部省訓令第4号 教員等の勤務時間の特例に関する規則 31. 5. 29官報

### 告 示

- 文部省告示第59号 学校給食実施基準の一部を改正する件 31. 6. 5官報
- 文部省告示第60号 昭和31年度司書教諭講習実施要綱 31. 6. 6官報
- 文部省告示第69号 昭和31年度単位修得試験実施要綱 31. 8. 11官報

### 国会事項

- 勸告書受領(衆議院)
- 報告及び勸告受領(参議院) 31. 7. 18官報

富山大学  
八号

学 内 規 程

学 則 中 一 部 改 正

(昭和31年7月27日評議会承認)

第31条を次の如くに改める。

第31条 授業料は次のとおりとし毎年前、後2期に分けて徴収する。

年 額	区 分
金 9,000円	昭和31年4月1日以降の入学者
金 6,000円	昭和27年4月1日以降の入学者
金 3,600円	昭和27年3月31日以前の入学者

2. 徴収時期は前期分(4月から9月までの分)は4月中後期分(10月から翌年3月までの分)は10月中としそれぞれ年額の2分の1額を徴収する。

3. 付属幼稚園の保育料は次のとおりとし徴収方法は前項に準ずる。

年 額	区 分
金 2,700円	昭和31年4月1日以降の入園児
金 1,800円	昭和27年4月1日以降の入園児

第35条を次の如くに改める。

第35条 入学志願者は検定料として金1,000円を、入学を許可された者は入学料として金1,000円を納めなければならない。

2. 転入学、編入学及び再入学の場合においても前項に準じ検定料及び入学料を徴収する。

授業料の額はその者が転入学、編入学及び再入学した当該年次の在学者の額と同額とする。

公立及び私立の大学からの転入学及び編入学者についても同様の取扱とする。

3. 教育学部の2年課程を修了し引続き当該学部の第3年次に進学する場合は検定料及び入学料は徴収しない。授業料の額はその者が従前徴収されていた額と同額とする。

4. 付属学校において入学考査を行うときは中学校は金300円、小学校は金200円の検定料を徴収する。

5. 付属幼稚園の入園許可者は入園料として金300円を納めなければならない。

第37条第2項を次の如くに改める。

第37条

2. 前項の許可があつた場合の授業料月割分納額は年額の12分の1としその月の10日まで納めなければならない。

但し、夏季休業及び冬季休業中の期間に対する月割分納額は各季休業始めの月の10日までに納めなければならない。

第62条中授業料月額及び検定料、入学料を次の如くに改める。

授業料月額	6,000円を9,000円に
検定料	400円を1,000円に
入学料	400円を1,000円に

第66条第1項中授業料月額350円を600円に改め同条第2項中検定料金250円、入学料金250円を各500円に改める。

第67条第3項中一単位毎に授業料として金200円を金300円に改め、同条第4項中検定料金250円、入学料金250円を各々金500円に改める。

付則第1条の末尾に次の項を加へる

付 則 (昭和31年7月28日改正)

この学則は昭和31年4月1日から実施する。

富山大学レクリエーション委員会 規程

第1条 本学における職員のレクリエーション活動の計画実施とその健全なる発展を図るため、富山大学レクリエーション委員会(以下委員会という)を設置する。

第2条 委員会は左の事項を審議する。

1. レクリエーションに関する職員厚生費の使用計画
2. 厚生施設並びにレクリエーション活動に関する総合的年間計画並びに実施に関すること。
3. その他職員の福利厚生及レクリエーション活動に関すること。

第3条 委員会は、次の委員で組織する。

1. 事務局長、各課長、各事務長
2. 各部局の長の指名するレクリエーション担当者 各1名

2. 前項2号の各部局とは、事務局、学生部、各学部、附属図書館とする。

第4条 必要あるときは専門委員を委嘱し、又は委員以外の職員の出席を求めることができる。

第5条 委員会に委員長を置く。委員長は事務局長とする。

2. 委員長は委員会を召集し、その議長となる。

3. 委員長事故あるときは、委員長より指名された者が議長となる。

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければこれを開くことが出来ない。

2. 議事は、出席委員の過半数の同意によつて決定し、可決同数の場合は議長が之を決する。

3. 委員に事故あるときは、その代理者を出席させるこ

とが出来る。

第7条 委員会に専門部会を設けることが出来る。専門部会の運営については、別に定める。

第8条 委員会に幹事を置く。幹事はこの会の庶務を掌る。

2. 前項の幹事は、事務局長が指名するものとする。

第9条 本規定の改廃は、委員会の決議を経なければならない。

付 則

本規程は、昭和31年6月12日から実施する。

**富山大学レクリエーション委員**

(富山大学レクリエーション委員会規定第3条第2項に定めるレクリエーション委員)

部局名	氏 名
事務局	有 岡 進
学生部	井 波 勝 二
文理学部	松 永 泰 三
教育学部	洲 崎 茂
経済学部	若 林 良 吉
薬学部	桜 井 雅 楽
工学部	四 谷 平 治
附属図書館	船 見 幸 生

**富山大学レクリエーション委員会専門部会部員**

野 球 部	川島 勇次(文) 民谷 順治(教) 松下 一郎(経)
	北川 晴雄(薬) 加藤 正(工) 斎藤 隆(図)
	石黒 勝夫(学) 数見宇佐男(本)
庭 球 部	塩谷 孝雄(文) 中川 孝(教) 斎藤 茂男(経)
	松本 弘一(薬) 藤田 修(工) 松下 甚清(図)
	吉田 徳正(学) 高松 平吉(本)
排 球 部	山田 昇(文) 頭川 徹治(教) 奥野 武則(経)
	吉崎 正雄(薬) 山田 正夫(工) 斎藤 隆(図)
	石黒 勝夫(学) 高松 正雄(本)
卓 球 部	中川 正之(文) 山下 寿和(教) 森田 隆夫(経)
	山崎 高応(薬) 竹岡 環(工) 松下 甚清(図)
	吉田 徳正(学) 藤田 信二(本)
ソフトボール部	森 慶二(文) 田中 久雄(教) 中林 邦夫(経)
	酒井 弘(薬) 中島 国衛(工) 斎藤 隆(図)
	石黒 勝夫(学) 島田 利雄(本)

**人 事 異 動**

官 職	氏 名	異 動 内 容	発 令 年 月 日
文 部 教 官 (富山大学講師 経済学部)	田 中 文 信	富山大学助教授(経済学部)に昇任させる	昭和31. 5. 1
	小 柴 値 一	講師(文理学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学助教授 文理学部)	岡 崎 初 雄	富山大学補導協議会委員を免ずる	〃
〃	〃	富山大学文化部会委員を免ずる	〃
文 部 教 官 (富山大学講師 文理学部)	藤 木 興 三	〃	〃
文 部 教 官 (富山大学教授 文理学部)	宗 像 健 一	国家公務員法第79条第1号の規定により休職にする 休職の期間は昭和31年11月5日までとする	昭和31. 5. 6
文 部 教 官 (富山大学教育学部付属中学教諭)	水 井 謹 作	富山大学助教授(教育学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	昭和31. 5. 10
〃	布 村 清 太 郎	富山大学講師(教育学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
〃	手 塚 義 三 郎	富山大学助教授(教育学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
〃	篁 ハ ル	富山大学講師(教育学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学教授 文理学部)	高 瀬 重 雄	富山大学文化部会委員を命ずる 任期は昭和32年7月31日までとする	昭和31. 5. 29
文 部 教 官 (富山大学助教授 文理学部)	渡 辺 義 一	富山大学補導協議会委員を命ずる 任期は昭和32年7月31日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学助教授 工学部)	加 藤 正	富山大学教授(工学部)に昇任させる	昭和31. 6. 1

官 職	氏 名	異 動 内 容	発 令 年 月 日
文 部 教 官 (富山大学講師 工学部)	井 村 定 久	富山大学助教授(工学部)に昇任させる	昭和31. 6. 1
文 部 教 官 (富山大学教授 工学部)	加 藤 正	富山大学教授(教育学部)に併任する 任期は昭和31年9月30日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学助教授 工学部)	井 村 定 久	富山大学助教授(教育学部)に併任する 任期は昭和31年9月30日までとする	〃
	石 金 庸 子	備人(教育学部電話交換手)に採用する	〃
	大 熊 信 行	講師(富山大学経済学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
	岡 本 清 一	講師(富山大学経済学部)に採用する 任期は昭和31年9月30日までとする	〃
	福 田 博	講師(富山大学教育学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
	鮎谷 喜兵衛	講師(富山大学教育学部)に採用する 任期は昭和31年9月30日までとする	〃
文 部 教 官 (新潟大学助教授農学部)	萩 屋 薫	講師(富山大学教育学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (金沢大学助教授 法文学部)	鈴 木 寛	講師(富山大学教育学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
	奥 村 喜 代 志	臨時筆生(文理学部)に採用する 任期は昭和31年9月29日までとする	〃
備人(富山大学文理学部)	宮 武 栄 吉	療養を命ずる 療養の期間は昭和31年9月4日までとする	昭和31. 6. 5
	内 田 穰 吉	文部教官(富山大学講師経済学部)に採用する	昭和31. 6. 16
文 部 教 官 (静岡大学助教授 教育学部)	永 森 正 治	講師(富山大学経済学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (九州大学教授 法文学部)	高 田 源 清	〃	〃
	加 場 重 男	講師(富山大学工学部)に採用する 任期は昭和31年9月30日までとする	〃
文 部 教 官 (東京工業大学教授)	岡 本 哲 史	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和31年7月30日までとする	〃
備人(富山大学薬学部)	永 原 与 朔	国家公務員法第79条第1号の規定により休職にする 休職の期間は昭和32年6月27日までとする	昭和31. 6. 28
〃	青 山 夕 キ	辞職を承認する	昭和31. 6. 30
	鳥 山 喜 一	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和31年8月31日までとする	昭和31. 7. 1
文 部 教 官 (富山大学講師 経済学部)	柴 田 裕	富山大学講師(文理学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学助教授 経済学部)	菅 原 修	富山大学助教授(文理学部)の併任を解除する	〃
	矢 野 武 夫	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和31年9月30日までとする	〃
文 部 教 官 (神戸大学教授 経済学部)	久 保 田 音 二 郎	講師(富山大学経済学部)に併任する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (北海道大学触媒研究所教授)	管 孝 男	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和31年9月30日までとする	〃
	米 村 長 敏	講師(富山大学薬学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	昭和31. 7. 6
	〃	医員(富山大学薬学部)に採用する 任期は昭和32年3月31日までとする	〃
	森 為 三	講師(文理学部)に採用する 任期は昭和31年7月31日までとする	昭和31. 7. 15
作業員(富山大学庶務課)	栃 折 健 次	雇員(庶務課)に配置換する	昭和31. 7. 16
作業員(富山大学薬学部)	野 島 富 美 子	備人(薬学部)に配置換する	〃
	田 近 俊 之	作業員(薬学部)に採用する 任期は昭和31年9月17日までとする	昭和31. 7. 18
臨時筆生(富山大学会計課)	山 田 広	辞職を承認する	昭和31. 7. 31
	永 盛 祐 介	臨時筆生(庶務課)に採用する 任期は昭和31年9月29日までとする	昭和31. 8. 1
備人(富山大学工学部)	南 立 作	雇(工学部)に配置換する	昭和31. 8. 16

学 内 通 知

昭和31年度科学研究費交付金

昭和31年度科学研究費交付金について下記の通り課題の採択がありました。

科学研究助成補助金（助成研究）

研 究 課 題	氏 名	金 額	備 考
ハシリドコロのポリフェ ノラーゼの研究	鈴木 米三	20,000	文理学部 助 手
マイクロ波による分子構 造の研究 内部構成分子 CH <sub>3</sub> SH等について	児島 毅	30,000	“ 助 教 授
経済発展と国際貿易に関 する理論的研究	柴田 裕	20,000	経済学部 講 師
イギリス古典派経済学に 於る貿易理論（本年度課 題リカードの貿易理論）	淡路 憲治	20,000	“ 助 手
北陸地区における労働者 企業参加の実態	池田 直視	20,000	経済学部 助 教 授
ピリダチンの核置換反応 について	高林 昇	30,000	薬 学 部 助 手
抗黴性薰蒸剤による医薬 品の保存に関する研究	上田 道広	30,000	“
負性インピーダンス変換 器を用いた加入者電話機 用増力器について	鳥取孝太郎	30,000	工 学 部 助 教 授

科学研究費交付金（各個研究）

米国コロラド産頁岩油成 分の研究	飯田 武夫	140,000	薬 学 部 助 教 授
---------------------	-------	---------	----------------

奨学金の受拂事務監査

今回日本育英会より昭和30年度奨学金受払事務監査並に一般事務上の連絡調査のため、下記職員の来学を見、監査が行われ、本部および学部とも良好な成績で終了した。

監査職員

日本育英会監査室長 窪田 九 二 三  
渡 部 次 郎

監査月日 8月14日

部 局 情 報

学 生 キ ャ ン プ

文部省の昭和31年度特別課外活動助成費により、ウインパーテント（6、7人用）10張、シュラクザツク55個を持つことが出来たので、学生部では、更にキャンプ施設附属用具（石油こんろ、鍋、ランタン、食器等）を整備して、学生のキャンプを次の要項で実施した。



◆ 夏季学生キャンプ実施要項 ◆

- 趣 旨  
学生活動の一環として、キャンプを実施し、団体活動及びキャンプ活動を体得せしめると共に、山岳の自然に接せしめて健全なる心身の育成に資する。
- 期 日 A班 7月20日～7月23日  
B班 7月23日～7月26日
- キャンプ地 立山 雷鳥沢
- 対 象 希望する学生各班40人計80人とする。
- 日 程  
第1日 電鉄富山駅—立山駅—登山電車—(バス)弘法—(徒歩)雷鳥沢  
第2日 } キャンプ滞在 (立山、剣登山)  
第3日 } ハイキング、キャンプ概要指導  
第4日 キャンプ発帰学 往路に準ずる
- 指導教官 経済学部 助教授 石瀬 秀治  
教育学部 講師 有沢 一男
- 指導助手 A班 山岳部 高井芳樹外 4名  
B班 ワンダーフオーグル部猪又伸夫外4名
- 参加経費 交通費 600円 諸費 400円 計 1,000円  
なお、学生のキャンプ設備利用申込が殺到して、現有設備では到底申込学生全員の希望を、遺憾ながら満足させてやる事が出来なかつたが今夏本設備を利用した概要は次のとおりである。  
1. 薬学部山岳部 7人 三俣蓮華、檜、穂高  
2. ワンダーフオーグル部 10人 剣、浄土、立山  
3. 富大山岳部 12人 剣、三ノ窓  
ロッククライミング

- 4. 富大スキー部 5人 烏帽子,三俣蓮華,槍ノ肩
- 5. 薬学部生化学教室 5人 五色,有峰
- 6. ユネスコ・クラブ 14人 野尻湖
- 7. 白 墨 会 9人 白馬
- 8. 工 学 部 学 生 4人 白山
- 9. 経 済 学 部 学 生 7人 剣
- 10. 教育学部体育専攻学生 10人 槍,後立山
- 11. 一般教育科学生 7人 剣
- 12. 一般教育科学生 6人 五色
- 13. 工 学 部 学 生 4人 恵振,朝日
- 14. 一般教育科学生 14人 槍
- 15. ワンダーフォーゲル部 4人 白馬
- 16. 経済学部学生 7人 剣
- 17. 高岡学友会 10人 妙高

### 部局対抗野外競技大会

本部レクリエーション部局対抗野外競技大会は、7月中下旬にわたって開催されたが、各競技の成績は下記の通りであった。

記

◇ 排 球 大 会 7月18日 教育学部体育館に於て  
優 勝 工学部チーム

- 第1回戦 本部チーム 0 - 2 工学部チーム
- 薬学部チーム 1 - 2 教育学部チーム
- 工学部チーム 2 - 0 文理学部チーム
- 本部チーム 1 - 2 薬学部チーム
- 文理学部チーム 2 - 0 教育学部チーム

第2回戦 薬学部チーム 0 - 2 工学部チーム

文理学部チーム 0 - 2 教育学部チーム

優 勝 戦 工学部チーム 2 - 1 教育学部チーム

◇ 庭 球 大 会 7月18日(水) 教育学部コートに於て  
優 勝 蓮町チーム

- 参加チーム 蓮町チーム(文, 経, 図)
- 五福チーム(教)
- 奥田チーム(本, 薬)
- 高岡チーム(工)

◇ ソフトボール大会 7月24日(火)  
教育学部グラウンドに於て

優 勝 奥田チーム

第1回戦 高岡チーム 4 - 6 奥田チーム

五福チーム 1 - 23 蓮町チーム

優 勝 戦 蓮町チーム 2 - 4 奥田チーム

◇ 野 球 大 会 7月25日 薬学部グラウンドに於て  
優 勝 奥田チーム

第1回戦 五福チーム 1 - 8 奥田チーム

蓮町チーム 3 - 11 高岡チーム

優 勝 戦 高岡チーム 3 - 8 奥田チーム

◇ 卓 球 大 会 7月26日 教育学部体育館に於て  
優 勝 薬学部チーム

	本部	文経図	教育	薬	工	計(勝)
本部		4	3	1	5	3
文経図	1		4	2	3	2
教育	2	1		1	1	0
薬	4	3	4		3	4
工	0	2	4	2		1
計(負)	1	2	4	0	3	

### アルミニウム合金板の大気腐蝕試験

近年アルミニウム合金が建築材料として、特に屋根板に使用され出して来た。こゝで問題になるのは実際に使用した場合、何年位持つかということであるが、遺憾ながらこの試験が今日まで世界の何れの国においても実施されていない。ところで我が国軽金属協会が中心となり、本試験を行うことになったが、実施個所として北は札幌から南鹿児島に亘る16地区を選んでいる。

さきに本学部はこの依頼を受け、50年間に及ぶ長期試験であるが教授会でこれを受諾、小生が試験委員、堀茂徳助手が試験担当と云うことに決つた。



概要について先づ試験用アルミニウム合金板の種類であるが、これを第1表に示した。試験期間は、6ヶ月、1年、2年、4年、7年、10年、20年、30年、40年、50年の10期間である。試験要項は先づ試験開始前後の機械試験、腐蝕試験(マイクロメーターによる試験、顕微鏡による試験)、外観写真、その他気温、湿度、風向き、等々色々な角度から検討することになっている。

本県の如く、気温最高38.1°、最低-12.1°、平均13°、湿度最低17%、平均81%、風向き平均南西、0.1mm以上の雨220日、晴26日、積雪62cm、暴風雨10~15m 17日と云う悪条件の地方と表日本、或は北海道、鹿児島などに比べ如何なる差異が現れるか、唯今6ヶ月間の第1期試験を終了し、その結果を整理している所である。

試験開始が本年2月1日、丁度積雪の途上で、写真1にそ

の腐蝕試験状況を示した。6ヶ月後の外観検査の結果を見るに、第1表の区分3、8、12、(アルマイト処理したもの)が最も良好で、次が1、2、9、(99.7%Al、99.3%Al及び52S)が良好、次が6、11、4、7、10(24S合せ板、63S、3S、43S、61S)、最も悪いのが5(24S)と云う順序になっている。

アルミニウム地金の生産も逐年増産しつつあり、地元、

北陸軽金属工業株式会社に於いても逸速く建築材料に着目され、アルミニウム屋根板の増産に最新式設備を増設される運びとなり、更に大気腐蝕に対し、万全の対策を講じていられることは、日頃アルミニウムの研究に従事し、今又各種アルミニウム合金板の大気腐蝕試験を実施している小生にとり同慶に堪えない。

(工学部教授 室町 繁雄)

第 1 表 使用試験板の種類

区分	種 類	質別	寸 法	枚数	製造提供会社名
1	アルミニウム板第1種JISH4101 A1P3 (但し、純度99.7%程度のもの)	H24	<sup>mm</sup> 1×180×330	180	東洋アルミニウムKK
2	アルミニウム板第3種JISH4101 A1P1 (但し純度99.3%程度のもの)	(X)	〃	〃	KK高田アルミニウム製作所
3	〃	(Y)	〃	〃	〃
4	耐食アルミニウム合金板第3種JISH4101 A2P3 (3S板)	H14	〃	〃	KK大阪アルミニウム製作所
5	高力アルミニウム合金第4種JISH4105A3 PC4 (24C板)	T3	〃	〃	住友金属工業KK
6	高力アルミニウム合金合せ板第4種JISH4106 A3P4 (24合せ板)	〃	〃	〃	古河電気工業KK
7	43S板	(X)	O	〃	日本アルミニウム工業KK
8	〃	(Y)	O	〃	〃
9	耐食アルミニウム合金板第1種JISH4104 A2P1 (52S板)	H34	〃	〃	神鋼金属工業KK
10	耐食アルミニウム合金板第4種JISH4104 A2P4 (61S板)	〃	〃	〃	〃
11	63S板	(X)	T6	〃	那須アルミニウム工業KK
12	〃	(Y)	〃	〃	〃
13	外国製アルミニウム板	〃	〃	〃	Alcan
14	純銅板JISH3101 CuP	O	〃	〃	住友金属工業KK
15	7/3黄銅板JISH3201 BsP1	〃	〃	〃	古河電気工業KK
16	亜鉛鍍鉄板	〃	〃	〃	八幡製鉄KK製を購入

註 (1) 本表中(X)は陽極皮膜をしないもの、(Y)は陽極皮膜をしたものを表す。  
 (2) 陽極皮膜は漆酸により、原色のまゝとし、厚さ9ミクロン以上、蒸気処理をする。

### 工学部製煉研究室完成

既報（学報第7号）工学部森棟隆弘教授が中心となっている、工学部製煉研究室の新設はこの程完成を見たので、去る8月22日午前11時より、盛大な完成式を行った。

当日は、学長以下大学側関係者のほか、荒木丈太郎氏、成田副知事、吉川大谷重工富山工場長、その他多数者の列席を得たが、その研究室の完成による研究成果に、大きな期待がよせられている。



### 日本遺傳学会第28回大会

日本遺傳学会第28回大会は、来る10月6日より9日まで4日間、富山市公会堂（第1～第3会場）富山県医師会館（第4会場）において開催するが、日程等については下記の通りである。

前日（5日・金）

遺 伝 学 会 役 員 会	富 山 荘 (13.00～17.00)
遺 伝 学 会 選 考 委 員 会	富 山 荘 (17.00～18.00)

第1日（6日・土）

一 般 講 演（4会場）	公会堂及医師会館 ( 9.00～12.00)
記 念 撮 影	公会堂玄関前 (13.00～13.30)
総 会、受 賞 式	公会堂大ホール (13.30～14.30)
受 賞 講 演	公会堂大ホール (14.30～15.30)
市 内 見 学	(15.30～18.00)
懇 親 会	大 和 (18.00～ )

第2日（7日・日）

一 般 講 演（4会場）	公会堂及医師会館 ( 9.00～12.00)
一 般 講 演（4会場）	公会堂及び医師会館 (13.00～17.00)

第3日（8日・月）

一 般 講 演（4会場）	公会堂及医師会館 ( 9.00～12.00)
シンポジウムまたは特別講演	公会堂大ホール (13.00～14.30)
見学出発（動物学会と共催、黒部溪谷、立山連峰、能登の3方面）	(14.30～ )

第4日（9日・火）

見 学（黒部溪谷、立山連峰、能登の3方面）	
-----------------------	--

### 大会申込連絡先

富山市蓮町22 富山大学文理学部生物学教室内日本遺傳学会第28回大会準備委員会



- 6. 7 認定講習委員会開催
- 6.16 昭和31年度第1期分授業料減免選考委員会開催
- 6.19 駐日英国大使来学、薬学部施設視察
- 6.23 補導協議会開催
- 6.25 28日まで文部省会計実地監査
- 6.29 レクリエーション委員会開催
- 7. 3 レクリエーション委員会専門部会（野球）開催
- 7. 6 レクリエーション委員会専門部会（排球）開催
- 7. 6 } 文部省給与実地監査
- 7. 7 }
- 7. 8 第8回北陸三大学総合体育大会  
(於 金沢大学)
- 7.10 職業補導担当者会開催
- 7.11 経済学部第二期工事起工式挙行
- 7.11 } 富山地区公務員R連盟野球大会（於薬学部、
- 7.12 } 奥田中学グラウンド）
- 7.12 レクリエーション委員会専門部会開催
- 7.15 8月15日まで立山研究室開設
- 7.18 部局対抗排球庭球大会（於教育学部）
- 7.19 事務協議会開催（於工学部）
- 7.20 26日まで立山雷鳥沢に於いて夏季学生キャン  
プ実施
- 7.20 レクリエーション委員会専門部会開催
- 7.21 富山地区公務員R連盟排球大会（於市営コ  
ート）
- 7.24 部局対抗ソフトボール大会（於教育学部）
- 7.25 補導協議会開催
- 〃 部局対抗野球大会（於薬学部）
- 7.26 部局対抗卓球大会（於教育学部）
- 7.28 第2回評議会開催
- 7.30 レクリエーション委員会専門部会開催
- 8. 8 奨学金受払事務学内監査
- 8.14 日本育英会実地監査
- 8.18 補導協議会開催
- 8.22 工学部製煉研究室完成披露式挙行
- 8.28 } 第6回文部省共済総合北陸東海地区体育大会
- 8.29 } (於名古屋工大)